

【ねがいましては】

平成12年4月6日

第123号

KYOWA SCHOOL

「母を思う心」

これは昨年のことなのですが、ある日曜日だと思うのです。いつものように、やる気のある中学生は、午前中からお勉強というときのお昼のことなのです。

Aちゃんは、お昼ご飯を自宅から持ってくると言ってもらいました。きっとお弁当ができるのだろうと、あたりまえのように私は思っていました。彼女が戻ってきました。すると、菓子パンでしょうか、ひとつ、そして子鍋をひとつ、中には朝の残りだとかで、「そば」が入っていました。おいしいといって彼女は、鍋の中にはしを入れてニコニコと食べていました。

私の中に、うれしくてうれしくて、むしょにうれしいものが漂いました。

彼女の本当の心の中はわかりませんが、母に負担をかけまいとする、「おもいやり」なのだと、私は勝手に受け取りました。その後も彼女はそのとおり、けっしてわがままもなく、明るく、はじめに取り組みつけました。自転車に乗ってくるのですが、ずいぶん以前に買ってもらったのでしょうか、体にはつりあっていない大きさでしたし、それに乗って、浦安の方まで行ったりするとのことです。今の時代に、お金が、成績が、第一主義のようになってしまった今の時代に、私の心の中は、とてもきれいな清流のようなさわやかさで包まれました。

母と娘の中にある、深い深い絆が、このようにして私を洗ってくれたことに深く感謝しています。もちろん、その後希望どおりの高校へ合格したことは申すまでもありません。

自分の置かれた環境を他と比べ、自分が少しでも劣っていようものなら、不平不満を、愚痴をこぼしてしまいがちな今、きらっと光るものがあったんだなど、私にとって、今でも思い出すたびにきれいな心を取り戻せることができる情景です。

さて新学期、きっとみんな「きらっ」をもっているはず、そんな「きらっ」にまた出会えたらなー。と楽しみにしています。

そんな「きらっと」さんに必要最低条件が、なんといっても・・家庭の中の親と子の深いつながり・・深い絆だとおもいます。

おかあさんに今一度確認していただきたいと思います。お子さんと「心」つながってますか？

きみにも今一度確認していただきたいと思います。お母さんと「心」つながってますか？なんでも話せる、なんでも聞ける、そんな間がらになれたらいいですよね。

いくら親子と言っても「人」と「人」・・体の調子の悪い時だってあるし、心の調子の悪いときだってあります。そんなとき助けあえるのも「人」と「人」、とくに心の調子はなかなか見えにくいものです。おもいやりのある言葉をかけられたらいいですね。

「あゆみ」や「通知表」の変化で、一番心の中が大きく揺れ動いているのは、当の本人です。しかられる、しかられると、心中すでに充分に苦しんでいます。らくしすぎて、そのしっぺがえしであるのなら、そのところをじっくりと話し合うべきだと思います。かかる必要はないと思います。何が原因で・・の「何」をしっかりと話し合い、まじめに生きることのすばらしさ、美しさを知ることができたらと思います。

でも、なんといっても、まじめに生きることのすばらしさ、美しさを、子供がしっかりと受け止めるのは、おとうさん・おかあさんの生き方だと思います。生意気申し上げてすみません。

4月の予定 6日（木）KYOWA SCHOOL 新学期スタート 検定合格発表 他

22日（土）きょうわディスカッション…いろいろなことを話し合います

くわしいことは、別のお手紙でお知らせします。

24日（月）研修旅行のためお休み

* 新学期生徒受付中です！ こつこついろいろ教材開発中！ よろしくお願ひしマース！